

## i バス路線の検討経過

## 1 地域公共交通会議に7つの素案を提示し5つの案に集約された

平成 27 年度第 3 回地域公共交通会議（平成 28 年 2 月 5 日開催）において、下記意見があり、今後は、案⑤⑥を除き検討していくこととなった。

## 【主な意見】

- ・平尾から川崎市を經由して丘の湯に行く路線の必要性について疑問がある。まずは、稲城市内の運行を充実するべき。
- ・地域からは、このような要望はない。
- ・川崎市の運行は、川崎市の地域公共交通会議との協議が必要であるため、協議が整うには時間を要する。
- ・バス事業者からは、既に路線バスを運行している路線であり、路線バスと競合するため、課題が多い。仮にバス停が無くとも、路線を運行する場合、運転士には、プレッシャーがかかる。（降りたい・乗りたいとの要望）

## 2 案①～④、⑦の5つの案について検討を行った。

- (1) 平成 27 年度第 4 回自治会代表者検討会（平成 28 年 3 月 9 日開催）において、下記意見があった。

## 【主な意見】

- ・案④の往復便は、移動できないところが多くなるため課題が多い。  
また、i バスの見直し方針には、『市域のどの地域からでも稲城市立病院へ乗換えなしで行けるルートを確認する。なお、同時に重要な施設として稲城市役所を位置づけ、経由地とすべきアクセスポイントとする』とあり、i バスで稲城市役所に行かれない地域ができてしまう案である。
- ・はるひ野駅への運行については、はるひ野駅が起終点となっているので議論となるが、経由地にして残す方向で検討する。
- ・バスの台数や乗り継ぎの課題があるので、平尾団地から若葉台駅を經由して市立病院へ運行する路線とした方がよいのではないかと。
- ・バス停を廃止するのは課題が多いため、出来る限りバス停を廃止しない方がよい。
- ・案①については、西関場バス停が廃止とならないように、Aコースが経由するルートにした方がよい。

- (2) 平成 28 年度第 1 回バス事業者検討会（平成 28 年 4 月 8 日開催）において、下記意見があった。

## 【主な意見】

- ・若葉台四丁目を運行する路線や坂浜地区から若葉台駅へ向かう路線は、不採算路線となっており、i バスが運行することとなると路線バスとしては撤退を含めて検討しなければならない。

3 平成 28 年度第 1 回自治会代表者検討会（平成 28 年 4 月 27 日開催）において、見直し路線案について、i バスの見直し方針・見直し条件について評価を行った結果、案⑦の修正案の評価が高かった。

**【主な意見】**

- ・案⑦の路線は、4 路線であり、シンプルでわかりやすい路線である。
- ・案②③の修正案では、A コースと B コースは短く B コースで稲城市役所に行けないので、案⑦の方が利用しやすいと思う。また、今後、南山への延伸を考えると稲城駅まで延伸すべきである。

4 平成 28 年度第 2 回バス事業者検討会（平成 28 年 5 月 1 2 日開催）において、見直し路線案について検討した。自治会代表者検討会で評価の高かった案⑦の修正案について、概ね了承いただいた。

**【主な意見】**

- ・南多摩スポーツ広場への運行については可能であると思われる。警視庁と調整が必要である。
- ・ダイヤ作成においては、路線バスのダイヤを考慮していただきたい。

5 平成 28 年度第 1 回市民代表者合同検討会（平成 28 年 5 月 1 6 日開催）において、見直し路線案について再度検討した結果、右回り、左回り、平尾団地から市立病院への路線を運行することで意見統一され、残りの路線の運行経路を最終的に協議していけばよいのではとの結論となった。

**【主な意見】**

- ・路線バスの運行との兼ね合いから、若葉台四丁目方面への運行要望は撤回する。
- ・稲城・府中メモリアルパークへの運行については、周辺の整備進捗に応じて、次回以降の見直しの中で検討したい。
- ・南多摩スポーツ広場への運行の検討には、詳細な利用状況の確認が必要である。
- ・是政駅への運行要望は残っているが、今回は市内を優先し、市外となる是政駅への運行は次回以降の見直しの中で検討したい。
- ・ニュータウンから南多摩駅方面へ運行する際は、稲城中央公園～稲城第五中学校東～城山公園の経路を通るよりも丘の上通りを通るほうが、より多くの住民の利便性向上につながるのではないか。
- ・右回り、左回り、平尾団地から市立病院への路線の運行は修正案の経路でよいのでは。残りの路線は、市立病院、稲城長沼駅、押立地区、丘の湯、市役所への運行が必須であるとしても、詳細な運行経路は検討の余地があるため、継続して協議したい。
- ・今回の見直しでは最低 1 台増車することは必要と思われるが、増車した分経費がかかることになるので、利用が少ない時間帯の運行の必要性などを公共交通会議の中で検討していきたい。
- ・単に路線を増やすだけの見直しは、経費が増えることにもなり、市民感情として受け入れにくい。